

## スポーツフェスティバル

体育部

先日は、スポーツフェスティバルの参観ありがとうございました。昨年度は2学年ごとだったフェスティバルも今年度は3学年ごとに規模を拡大して開催することができました。本校でのインフルエンザの流行の状況や熱中症対策など、心配されることも多い中、子どもたちが体調を崩すことなく開催できましたのは、保護者の皆様のご理解とご協力があったからこそです。当日多くの保護者の方々に参観していただき、子どもたちも嬉しそうでした。

子どもたちの頑張りはいかがでしたでしょうか。制約が多い中の練習でしたが、どの学年も本番まで一生懸命練習していました。練習中には拍手で友達を応援したり、ダンスの振り付けを熱心に教えたりする姿が見られました。演技時間や、競技時間はわずかなものかもしれませんが、それまでの頑張りには一人一人にその子だけのストーリーや学びがあります。他者との比較や競争ではなく、その子自身の本番を迎えるまでの努力の過程に目を向けていただき、ご家庭でもその頑張りを認めていただきたいと思います。認めてもらえて、褒めてもらえることが子どもたちにとって次の活動へのエネルギーになります。ぜひよろしくお願いいたします。

## あいさつチャレンジ

代表委員会担当

6月1日～7日までの1週間は、あいさつ週間でした。八雲台小学校の児童が気持ちよくあいさつを交わせる元気な学校にするためには、どうしたらよいか、代表委員が考えました。

- ① 友達にならあいさつができる。 ② 知っている先生にならあいさつができる。
- ③ 知らない人にはあいさつがなかなかできない。

以上の実態から、『あいさつをしたことがある人になら、自分からあいさつをすることができるのではないか。』と考えました。そこで、今回のあいさつ運動では、「今日は3人、明日は昨日の3人と新たに3人…」と、毎日少しずつあいさつする人数を増やしていけるような企画を提案しました。活動を通して毎日あいさつを意識する児童が増えた一方、それでもなかなかあいさつの声を出せない児童も多くいたことが反省に挙がりました。

2学期にもあいさつ運動があります。今回の成果と反省を生かし、八雲台小をあいさついっぱい学校にしていけるように、代表委員でよく話し合い、考えていきたいと思います。地域の皆様にも、ぜひ、子どもたちに明るいあいさつをお願いいたします。